

北海道の酪農DXを考える会

# 北海道の酪農DXを考える セミナー（帯広）

少子高齢化、人口減少などに伴う労働力不足に直面している日本で一次産業を維持することは、食料の安定供給だけでなく、農村地域におけるコミュニティや文化の保全など多面的な効果が期待されます。

近年、デジタルトランスフォーメーション（DX）が様々な産業で進行しており、農業分野でもその重要性が増しています。特に酪農業においては、労働力不足の解消、生産性向上、環境負荷の軽減や脱炭素といった課題に対して情報技術の導入が有効とされています。

「北海道の酪農DXを考える会」では、昨年8月に別海町において、酪農現場におけるロボット導入の状況などについて見学会を開催しました。同時に開催したセミナーでは酪農現場における課題を整理し、DX技術による解決の可能性を議論する機会を得ました。

今回の帯広でのセミナーでは、今から15年後（2040年）の北海道酪農がおかれるであろう状況についての仮説を共有し、課題解決に貢献するDX開発のロードマップについて、より具体的に議論する場を設けたいと企画しました。とりわけ酪農を主産業とする地域の行政、農業団体、酪農家など、将来の地域活性化の担い手とDXに詳しい技術者による活発な議論を期待しています。

本セミナーおよび意見交換会を通じて、酪農業の持続可能な発展と地域社会の活性化を目指し、皆様と共に未来の酪農業を創造していきたいと考えております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

**2.19** **Wed.**  
**13:00-16:00**

お申し込み  
お問い合わせ

## 【セミナー】

第1部 13:00-14:40

第2部 14:45-16:00

## 【会場】

十勝農協連ビル会議室  
(帯広市西12条南6丁目)

## 【参加費】無料

※ ご参加可能人数に制限があります。  
お早めにお申し込みください。



北海道の酪農DXを考える会  
世話人代表 田中 孝之

北海道大学大学院  
情報科学研究院 教授

主催 北海道の酪農DXを考える会

事務局：株式会社リープス

参加申込フォーム

011-206-1462

info@leaps.jp



# プログラム

0

ごあいさつ 北海道の酪農DXを考える会 代表世話人 田中 孝之  
国立大学法人北海道国立大学機構  
帯広畜産大学 産学連携センター センター長 岡田 繁

1

## 第 1 部 セミナー



農業者人口の減少に対応する農村地域におけるコミュニティのあり方

栗山町役場 主幹 金丸 大輔



酪農DX推進に向けたPOC（概念実証）の試み

帯広畜産大学の畜産フィールド科学センター牛舎での  
搾乳支援を目的としたデジタルツインの取り組み～

帯広畜産大学畜産フィールド科学センター 教授 草場 信之  
北海道大学大学院情報科学研究院 助教 日下 聖



建設業におけるDX導入による作業の省力化、軽労化推進の状況

大成建設株式会社 建築本部 生産技術イノベーション部 部長 田中 吉史



2040年、酪農の街の存続を考えた酪農DX開発ロードマップ作成を目指して  
意見交換会に向けたイントロダクション

北海道の酪農DXを考える会 代表世話人 田中 孝之

2

## 第 2 部 意見交換会

15年後（2040年）の北海道酪農がおかれている状況について仮説を共有したうえで、酪農DXにおけるロードマップの作成のために、必要な技術について下記のテーマを中心にワークショップ形式で議論を深めます。

① 搾乳作業の軽労化と効率化

③ 酪農業への就労支援

② 牧草地管理作業の効率化

④ 営農計画・経営分析のDX

共催：チャレンジフィールド北海道

後援：日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委員会